

(別紙5) 補助事業概要の広報資料

整理番号 2018M-018
補助事業名 平成30年度 超電導の国際標準化推進に関する 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本電線工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

超電導技術は、電力・エネルギー分野をはじめとした広範な産業分野への活用が見込まれており、今後超電導機器が広く世界において利用されるようになると、その市場拡大・安定取引のため国際規格の整備は必要不可欠であり、規格標準化を主導的に推進し適切なものにする事が、我が国の国際競争力強化、関連産業の発展の観点から極めて重要である。

(2) 実施内容

①超電導の国際標準化推進に関する補助事業

(https://www.jcma2.jp/jigyuu/news/individual.html?entry_id=513)

IEC/TC90 (国際電気標準会議/第90専門委員会、超電導) の国内技術委員会の下に14のWG(ワーキンググループ)を組織し委員会活動を通じて、超電導関連国際規格のレビュー・改訂と新規規格発行の業務を推進した。



委員会開催の様子

IEC 61788-23 Ed.1:2018 , Superconductivity - Part 23:
Residual resistance ratio measurement - Residual resistance ratio of Nb superconductors

IEC 61788-24 Ed.1:2018 , Superconductivity - Part 24:
Critical current measurement - Retained critical current after double bending at room temperature of Ag-sheathed Bi-2223 superconducting wires

IEC 61788-25 Ed.1:2018 , Superconductivity - Part 25:
Mechanical properties measurement - Room temperature tensile test on REBCO wires

平成30年度に新たに発行された超電導関連の国際規格

(別紙5) 補助事業概要の広報資料

2 予想される事業実施効果

超電導技術は、電力・エネルギー分野をはじめとした広範な産業分野への活用が見込まれており、今後超電導機器が広く世界において利用されることが期待される。本事業を通じて、超電導の市場拡大・取引安定、関連産業の発展、我が国の国際競争力強化を推進することができる。さらに、超電導技術のグローバルな普及を促進させることになり、超電導技術による地球温暖化防止や省エネルギー推進に貢献することができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本電線工業会

(イッパンシャダンホウジン ニホンデンセンコウギョウカイ)

住所： 〒104-0045

東京都中央区築地1-12-22 コンワビル2階

代表者： 会長 小林 敬一 (コバヤシ ケイイチ)

担当部署： IEC/TC90超電導委員会事務局 (チョウデンドウイインカイジムキョク)

担当者名： 担当部長 三村 正直 (ミムラ マサナオ)

電話番号： 03-3542-6031

F A X： 03-3542-6037

E-mail： tc90mimura@jcma.jp

U R L： <https://www.jcma2.jp/index.html>